

議 事 概 要 書

令和 6 年度 玉野市地域公共交通会議

開 催 日 時	令和 6 年 8 月 1（木曜日）14 時から 15 時 30 分まで
開 催 場 所	玉野市役所 3階 大会議室
出 席 委 員	玉野市地域公共交通会議委員 15 名（欠席委員 7 名） 玉野市地域公共交通会議専門員 7 名 事務局 3 名
傍 聴 の 可 否 (非公開の理由)	可
傍 聴 人 数	0 名
議 事 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 （1）玉野市地域公共交通の状況（令和 5 年度利用状況）について （報告） （2）令和 5 年度交通まちづくり評価検証結果（報告） （3）① シータクの新病院への運行 ② シーバス運賃無料デーの実施日 ③ 岡山市の「利便増進計画」 4 閉会 詳細は、別紙会議録のとおり
特 記 事 項	無
事 務 局	玉野市公共施設交通政策課 電話 0863-32-5547

令和 6 年度 玉野市地域公共交通会議 会議録

1 開会

2 会長あいさつ

柴田会長あいさつ

3 議事

(1) 【資料 1】玉野市地域公共交通の状況（令和 5 年度利用状況）について（報告）

事務局より、資料 1 について説明

質疑なし

(2) 【別添資料】令和 5 年度交通まちづくり評価検証結果（報告）

岡山大学大学院 交通まちづくり学研究室 西村さんより別添資料の説明

(3) 【資料 2】

1 シータクの新病院への運行

事務局より、資料 2 について説明

質疑応答

【委員（地区）】

- ・病院の受付時間や利用が多い時間帯を勘案して、運行時間帯を設定してもらえると利用しやすいものになると思う。

【事務局回答】

- ・外来時間や受付時間も考慮して、運行時間帯を設定したいと考えている。

【委員（地区）】

- ・了解した。

【委員（地区）】

- ・現在、三井病院まで直接行くことができる地区だが、今後、新病院まで直接行くことができるようになると、歩いて市役所等にも行くことができ、大変便利になる。

【会長】

- ・だれでもが利用できるような仕組みを考えているか。

【事務局回答】

- ・この度の運行見直しの考え方は、現在、三井病院に通院している人が、引き続き、新病院へ通院できるように運行することを考えている。

【副会長】

- ・シータクで三井病院に通院している人を、新病院に通院できるようにするという考えは、「シータクを利用しやすいようにしてもらいたい」という市民の声とも一致している。
- ・一方で、市の中心部までシーバスを使わずに行けるようになることは、現状のシータク、シーバスの考え方である「周辺部の人をシータクで、シーバスに繋ぎ、シーバスで中心部に行ってもらおうという形で運行する」とは異なってくる。これは、不便にしようというのではなく、シータクで中心部まで来て往復していると時間が過ぎ、サービスが十分提供できない恐れがあるため、現状の考え方となっている。
- ・しかし、今後、荘内や和田・日比・玉原エリアから中心部まで直通で行けるようになると、八浜や東児からも行きたいという声が大きくなり、他エリアとの兼ね合いの問題も出てくる。市内全域から直通で中心部まで行けるようにしてしまうと、運転手不足の中で、シータクは十分なサービスが提供できるのか、シーバスの役割はどうなるのか、等の問題が考えられる。
- ・まずは、実証実験ということだが、中心部への乗り入れありきで進めて、結果、コミュニティ交通全体としては不便なものになるのでは意味がない。どのような使い方をするのか、どの時間帯に運行するのか、しっかりと考えてもらいたい。

【委員（タクシー）】

- ・荘内地区では、高野タクシーが営業している。荘内エリアから直通で中心部まで行けるとなると、高野タクシーの営業に大きな影響を与えることになると思う。
- ・これまで、シータクは、通常のタクシー事業との共存共栄という考えの下、中心部を多く走らないという位置づけで運行してきた。これからも、共存共栄となるような方法を考えていく必要がある。

【委員（タクシー）】

- ・現状の通常のタクシー事業において、運転手不足に加え、働き方改革により勤務時間が短くなったことで、朝の通院の時間帯の予約を断ることがある。運転手は、一斉に出勤するのではなく、時間帯をずらして徐々に出勤しているため、朝の時間帯は、どうしても少ない人数での営業となっている。
- ・玉野市のコミュニティ交通は、周辺部からシータクで、中心部へのシーバスの運行に繋げるやり方で行ってきた。このため、本来であれば、この案は賛

成しかねるが、現状、反対できるだけの余力がない。

- ・ 荘内地区から通常のタクシーを利用して、市民病院まで通院している方がいるので、そういった方が、シータクを使うようになると営業に影響が出る。

【事務局回答】

- ・ タクシー事業について、厳しい現状とご意見をありがとうございます。引き続き、これからも共存共栄が可能となるような運行のやり方等を考えていきたいので、ご協力をお願いしたい。

2 シーバス運賃無料デーの実施日（報告）

【専門員（運輸局）】

- ・ 運賃補填は、どうなるのか。

【事務局】

- ・ 運賃分については、市から補填を行う。

【副会長】

- ・ 議事（２）で、シーバス利用には、きっかけ作りが効果的という結果が出ていることもあり、良い効果が出ることを期待している。これまで利用していない人が、無料デー後も利用するようになったのかという検証が必要だと思う。ついては、これまで利用していなかった人にどう PR するのか、重要になると思う。

【委員（地区）】

- ・ 地区のコミュニティでもチラシの回覧協力ができると思うので、声をかけていただきたい。

【事務局】

- ・ 地区回覧の協力をいただけるということで、その際には改めてお願いをさせていただく。

3 岡山市の「利便増進計画」

【専門員（運輸局）】

- ・ 小串鉾立上山坂線の利用者がどこからどこに何人くらい利用しているのか、また、何時の便にどれくらい利用しているのかを示していただきながら、玉野市にとって、良くなるのかということを検討してもらいたい。

【副会長】

- ・ 岡山市の都合で考えるのではなく、玉野市にとってメリットがあるのかという点が重要。

- ・岡山市は朝夕の直通運行の継続についてどう言っているか。また、直通運行で玉野から利用している人が何人いるのか。
- ・労災病院へのアクセスの増加については確約事項なのか。

【事務局回答】

- ・この度の資料は、玉野市にメリットがあるか否かについてお示ししてあるものではなく、まずは、各委員へ計画概要をお示しすることで、議論をスタートさせていただいた。
- ・岡山市から直接、朝夕の直通便に関して明言はなく、両備バスさんと協議する中で、お話をいただいた。労災病院へのアクセス増加についても同様。
- ・また、玉野市から岡山市への朝夕の直通運行便の利用者数については現時点では把握できていない。

【副会長】

- ・利用者数等については、次回の会議の際にお示しいただきたい。

【委員（両備）】

- ・岡山市が計画を立てる段階では、朝夕の直通便の継続や労災病院へのアクセス増加については盛り込むように話をしている。玉野市から岡山市への朝夕の直通運行便の利用者数については、すぐにお示しできる数値を持ち合わせてはいない。

【副会長】

- ・利用者数を把握されているのは両備バスさんなので、集計をお願いする。玉野市にとって最も良いのは何なのかということで、進めてもらいたい。

【委員（地区）】

- ・労災病院は紹介状がなければ受け付けてもらえない。また、通院されている多くの玉野市民は車で通院していると思う。その中で、玉野からどれくらいの人数の利用が見込まれるのかも示してほしい。

（４）その他

【会長】

- ・本会の総括をお願いします。

【副会長】

（総括）

- ・それぞれの議事において、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。
- ・議事（２）については、内容的にはうまくまとまっていたと思う、またシーバスの無料デーにも期待できる内容となっていた。

- ・シータクの新病院への運行については、玉野市のシータクとシーバスの考え方や役割が変わるかもしれない大きな見直しとなる可能性がある。かなり重要な内容となっている。
- ・今の時代に合わせてシータクとシーバスの役割をどう改めるのかということを考えていかなければいけない。
- ・岡山市の利便増進計画については、玉野市だけでなく隣接市町村が影響を受ける話ではあるが、「玉野市民にとって何がメリットなのか」という視点を重要にしてもらいたい。
- ・これらの議事は、大きな変更となる可能性がある議論が始まったと捉えてもらい、次回も参加していただきたい。

4 閉会